



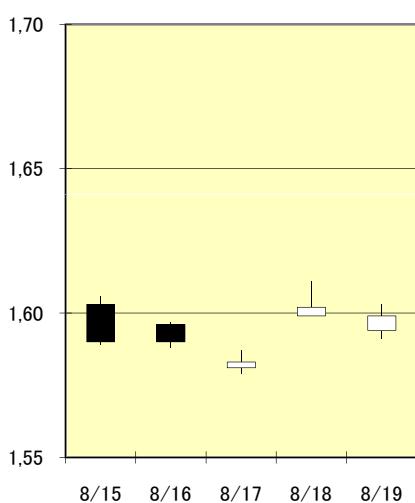
ブラジル三菱東京UFJ銀行 DAILY MARKET REPORT

1. Market Rate

			8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	Net Chg
Forex	USD/REAL	Spot	1,5900	1,5900	1,5830	1,6020	1,5990	-0,0030
	USD/YEN	Spot	76,84	76,81	76,61	76,58	76,50	-0,08
	EURO/USD	Spot	1,4448	1,4405	1,4425	1,4331	1,4397	+0,0066
	REAL/YEN	Spot	48,33	48,31	48,40	47,80	47,84	+0,04
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	2,72	2,80	3,02	2,88	3,04	+0,16
		1Year(p.a.)	2,94	3,06	3,15	3,04	3,10	+0,06
	Real Interest	6MTH(p.a.)	12,21	12,23	12,17	12,00	11,96	-0,04
		1Year(p.a.)	12,00	12,01	11,92	11,70	11,63	-0,07
Stock	Bovespa		54.651,83	54.323,61	55.073,02	53.134,10	52.447,63	-686,47
Bond	EMBI+(bp)		197,00	202,00	201,00	211,00	211,00	u,c,
	Global 40		138,300	138,100	138,400	138,350	138,3500	u,c,

* これは当社が各取引市場において、現地時間終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

直近5営業日U\$/R\$推移



【来週の予想相場レンジ】

1.58 ~ 1.63

【来週の為替市場注目点】

今週のレアルは、米国景気や欧州債務問題を巡る懸念が根強く、方向感を欠く神経質な動きとなった。足許ではリスク回避の動きが強まっていることから、来週もレアル上値拡大の余地は限定的で引き続き海外動向に敏感な相場展開を予想。

- 伯インフレ指数:IGP-M(22日)、IPC-S(23日)
伯週間貿易収支(22日)、経常収支・対内直接投資(23日)
伯失業率(25日)、基礎的財政収支(26日)
- 米新築住宅販売(23日)、耐久財受注・住宅価格指数(24日)
米GDP改定値(26日)

2. 市況、トピックス (As of ago-19)

【米欧景気動向を巡る懸念根強くレアル方向感を欠く展開】

今週の為替相場はU\$1=R\$1.6030にてオープン。週初は米大手インターネット会社によるM&Aの報道を受けて米株価が反発、連れて当地株価・レアルとも堅調に推移。NY連銀景況指数の弱い結果も相場への影響は限定的となった。その後、ユーロ圏GDPが予想を下回り、米住宅着工件数も不況な結果となったことで米欧景気に対する懸念も台頭、レアル上値も抑えられた。週央にかけては底堅い原油価格や当地経済活動指数がインフレ圧力の低下を示唆したことが好感され、株価は55千ポイント台を回復、レアルも1.58台前半へ上値拡大。しかし米有力紙においてFRBが欧州債務問題の米国への波及を懸念して欧州銀行の監視を強化している旨報じられるとリスク選好は急速に後退、株価は53千ポイント台へ押し戻され、レアルも1.60を突破した。米消費者物価指数が予想を越えて上昇、米当局が量的緩和政策について難しい舵取りを迫られるとも見方も広まった。

本日の為替相場はU\$1=R\$1.6030にてオープン。米大手金融機関が相次いで米国の成長率見通しを引き下げたことで投資家心理は後退、レアル・株価とも軟調な寄り付きとなった。朝方発表された当地インフレ指数(IPCA-15)は予想を上回る伸びとなったことも嫌気された。その後も欧州銀行の資金調達難や業績悪化に対する懸念は根強く、ドル円が史上最安値(75.95)をつける中、レアルも上値重く推移、1.60近辺へ下落となった。午後に入ると株価も53千ポイントを割り込み、レアル1.60を挟んで売買交錯。引けにかけてもレアルは方向感を欠いたまま揉み合いに終始、結局U\$1=R\$1.5990にて越週。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することができますので、予めご了承ください。